

第46号 / 2003.6

(財)エンジニアリング振興協会

石油開発環境安全センター

〒105-003 東京都港区西新橋 1-4-6 CYD ビル
TEL(03)3502-4447 / FAX(03)3502-3265

委員会報告

・運営会議 ・企画委員会
平成 15 年度事業計画

お知らせ

・エン振協研究成果発表会 2003 開催案内

委員会報告

平成 15 年度第 1 回運営会議

日時：平成 15 年 6 月 12 日

議題：平成 14 年度事業報告(案)、決算報告(案)について

平成 15 年度受託事業予算(案)について

経済産業省 原子力安全・保安院 鉱山保安課 箱崎課長及び委員長、牧 武志殿(帝国石油株専務取締役)のご挨拶のあと、議事に入り、大関常務理事及び竹内副所長より標記議題について内容説明を行い、審議の結果、満場一致で承認された。

平成 15 年度第 1 回企画委員会

日時：平成 15 年 6 月 10 日

議題：平成 14 年度事業報告(案)および決算報告(案)について

平成 15 年度受託事業予算(案)について

経済産業省 原子力安全・保安院 鉱山保安課 斉藤班長及び委員長、新井雄正殿(石油資源開発株取締役)のご挨拶のあと、議事に入り、大関常務理事及び竹内副所長より標記議題について内容説明を行い、審議の結果、承認され、運営会議に付議することとなった。

平成 15 年度石油開発環境安全センター 運営会議委員名簿

職務	氏名	勤務先	所属・役職
委員長	牧 武志	帝国石油株	専務取締役
委員	平井 文雄	JFE エンジニアリング株	常務 エネルギーエンジニアリング事業部長
"	大林 芳久	株大林組	専務取締役
"	森光 康夫	鹿島建設株	取締役 土木技術本部副本部長兼工務部長
"	吉井 正徳	関東天然瓦斯開発株	取締役 開発部長・営業部長
"	藤盛 紀明	清水建設株	常務執行役員 技術研究所長
"	佐藤 俊二	ジャパンエナジー石油開発株	取締役
"	落合 俊雄	新日本製鐵株	常務取締役エンジニアリング事業本部副本部長
"	寒河井 正	石油資源開発株	常務取締役
"	伊藤 喜栄	大成建設株	常任監査役
"	成富 尚武	千代田化工建設株	取締役副社長
"	菊島 一郎	天然ガス鉱業会	専務理事
"	牧野 功	東洋エンジニアリング株	専務執行役員
"	鎌田 成之	日揮株	代表取締役副社長
"	乗本 治男	日本海洋掘削株	常勤顧問
"	栗岡 威	三井住友海上火災保険株	専務取締役
"	太田 一紀	三菱重工業株	常務取締役 船舶海洋事業本部長

平成 15 年度石油開発環境安全センター
企画委員会委員名簿

職務	氏名	勤務先	所属・役職
委員長	新井 雄正	石油資源開発(株)	取締役 開発本部副本部長
委員	田中 彰一		東京大学名誉教授
"	城尾 和男	JFE エンジニアリング(株)	エネルギーシステム技術部長
"	福井 敏治	鹿島建設(株)	土木技術本部 工務部次長
"	山村 信博	関東天然瓦斯開発(株)	取締役 企画部長
"	結城 邦博	清水建設(株)	土木営業本部 部長
"	野口 浩	ジャパンエナジー石油開発(株)	取締役 事業部長
"	奥村 竜昭	新日本製鐵(株)	鉄構海洋事業部 副事業部長
"	二宮 潔	千代田化工建設(株)	営業第 1 部 グループマネージャー
"	武田 秀明	帝国石油(株)	技術企画部 部長
"	山本 純治	天然ガス鉱業会	調査部長
"	丹治 経雄	東洋エンジニアリング(株)	資源・コンサルティング部部長
"	藤井 宏治	日揮(株)	企画調整室渉外情報部 担当次長
"	市川祐一郎	日本海洋掘削(株)	メタンハイドレート開発事業部 事業部長
"	山本 一三	三菱重工業(株)	船舶・海洋営業第二部長

平成 15 年度事業計画

・受託事業

1．海底石油生産装置適用化に関する調査 (委託元：経済産業省)

海底生産システムの導入をする場合には、海洋環境の保全、機器装置の安全、設置作業・生産操業等の安全を期すと同時に、漁業とも調和のとれた海洋石油開発でなければならない。

平成 15 年度は、保護構造物を伴った海底生産システムに対する ROV(遠隔操作船)による点検・保守作業の手順や作業の安全の観点から、実海域での具体的な情報を得ると共に、これまでの調査の成果も取り込み、技術基準に資するよう標準的な作業手順を取りまとめる。また、漁礁環境特性調査として、保護構造物が設置された場合の海洋環境への影響を調査する。

2．二酸化炭素地中貯留技術研究開発 (経済産業省 補助金交付事業：実施主体 (財)地球環境産業技術研究機構)

本研究開発は、大規模排出源から分離・回収した二酸化炭素を地下の帯水層へ長期に安定的かつ安全に貯留する技術の確立を目的としている。

当センターは実施主体である(財)地球環境産業技術研究機構(RITE)の分室として参加している。

当センターの実施内容は 二酸化炭素の長期的な挙動を予測するためのシミュレータの開発 二酸化炭素地中貯留の実証試験 地中貯留を行う適地評価のための地質工学的手法の検討と評価である。

平成 15 年度は、新潟県長岡市の実証試験基地において、二酸化炭素の地中圧入試験を開始する。また、シミュレータ技術開発並びに適地評価のための検討も推進する。

3．メタンハイドレート資源開発研究環境影響 評価に関する研究 (委託元：経済産業省)

平成 13 年度を初年度とする 6 力年計画(予定) の本事業は、我が国周辺に相当量の賦存が期待されているメタンハイドレートについて、将来のエネルギー資源として、その利用に向け、経済的で環境保全に配慮した開発システムの確立に向けた長期の研究開発のフェーズ 1 に相当するものである。当センターは開発に伴う環境影響評価分野の研究開発を担当し、 海域環境調査評価、 モニタリング技術、 HSE 調査並びに 地層変形予測技術の 4 サブグループを設けて以下の研究開発を推進する。

海域環境調査評価サブグループ

メタンハイドレート資源フィールド候補海域のベースライン調査により、当該海域の環境条件及び基礎試錐による環境への影響を把握することを目標に、平成 15 年度は平成 16 年度に実施予定の総合調査の予備調査として環境調査を行う。

モニタリング技術サブグループ

メタンハイドレートの開発に伴い発生が懸念されるメタンガスの漏洩及び地層の変形をモニタリングする技術の開発を目標とし、平成 15 年度は、ガス漏洩モニタリング技術については、平成 14 年度に引き続き既存の溶存メタンセンサーの性能評価試験、課題の抽出等を行う。地層変形モニタリングについては、計測システムの初期モデルを構築し、室内性能評価試験を行う。

HSE 調査サブグループ

フェーズ 1 においては、安全面を中心に調査研究を行い、フェーズ 2 で予定されている海洋産出試験を対象に安全管理システムを策定することを目標としている。

平成 15 年度は大水深掘削時の安全上の問題点について、経験豊富な米国における調査結果及

び文献調査結果に基づき全体取りまとめを行う。

地層変形予測技術サブグループ

メタンハイドレートの開発に伴う地層変形を予測するシミュレータの開発を目標としている。

平成 15 年度はメタンハイドレートを含有する模擬メタンハイドレート試料の作成手法を確立し、これにより作成した試料を用いて、本年度導入する低温高圧三軸圧縮試験装置による三軸試験を行い、試験手法を確立し、模擬メタンハイドレート試料の強度、変形特性の把握に着手する。

4 . その他

前年度で終了した受託事業のうち継続的なものについては、本年度も引続き受託できるように努力する。また公募等による新規事業についても受託に努め、推進する。

．自主事業

- 1 . 石油開発に伴う環境・安全に関し、必要に応じて、諸外国から情報収集を行う。
- 2 . 各種機関からの委託調査の公募に対応できるように、新規テーマの発掘に留意し、必要に応じて、会員企業との検討会を組成する。

．石油開発環境安全に関する広報事業等

石油開発に伴う環境・安全に関し、関係方面の理解を深めるとともに、会員相互の交流を図るための諸事業を行う。

- 1 . センターニュースの発行
- 2 . 機関誌の発行 (財団本部と共同)
- 3 . ホームページの内容の充実と更新
- 4 . 成果発表会の開催 (財団本部と共同)

お知らせ

1. エン振協研究成果発表会 2003 開催案内

当協会における平成 14 年度の研究成果発表会を平成 15 年 7 月 9 日～11 日の 3 日間にわたり開催いたします。石油開発環境安全センター関連の発表は下記のとおりです。是非多数の方々のご参加をお願いいたします。

- ・ 日 時：平成 15 年 7 月 11 日（金） 10：00～13：50
- ・ 会 場：当協会 6F 6-CDE 会議室
- ・ 参加費：無料

プログラム

開会挨拶 10:00 大関常務理事

E-1 (10:05～10:45)

二酸化炭素地中貯留技術研究開発 - 長期挙動シミュレータの開発
大熊 宏（日本オイルエンジニアリング(株) 取締役）

E-2 (10:45～11:20)

海洋石油開発における海洋環境影響調査について - 環境センシティビティ・マップによる評価
中根 徹（(株)サイエンスアンドテクノロジー 専務取締役）

E-3 (11:20～12:00)

海洋石油開発における安全教育プログラムに関する調査結果について
岡田 陽（日本オイルエンジニアリング(株) 開発技術部 部長）

E-5 (13:00～13:50)

メタンハイドレート資源開発環境影響評価に関する研究 - モニタリング技術について
小林 日出雄（石川島播磨重工業(株) 技術開発本部技術企画部 専門部長）

申込み要領：所定の申込み用紙により郵送あるいはファクスによりお申込み下さい。

問合せ事務局 中村 TEL 03-3502-3671 FAX 03-3502-3265

2. 石油センターのホームページの更新

石油センターのホームページを更新しました。

ぜひ、一度ご覧になり、忌憚のないご意見をお寄せください。

<http://www.ena.or.jp/SEC/>

3. メタンハイドレート資源開発研究の関連ホームページ案内

メタンハイドレート資源開発研究についての最新のニュース、研究成果報告会・シンポジウム等の案内、関連資料等の情報は、メタンハイドレート資源開発研究コンソーシアム公式ホームページで入手できます。

<http://www.mh21japan.gr.jp>